

# 石川県立七尾産業技術専門校環境行動計画

平成21年12月11日

## 取組方針

石川県立七尾産業技術専門校は、新規学卒者及び離職者等に対し、職業訓練を実施し、職業人として必要な能力の開発、向上させることによって職業の安定を図るとともに社会経済の発展に寄与しています。

また、当校の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を職員・訓練生が一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 事務用品等の購入にあたっては、積極的にグリーン製品を採用します。
- ③ 資源（用紙、車両）のリサイクルを進め、有効利用を図ります。
- ④ 危険物・化学物質の安全な取扱
- ⑤ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて職員・訓練生一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員・訓練生に周知します。

平成21年12月11日

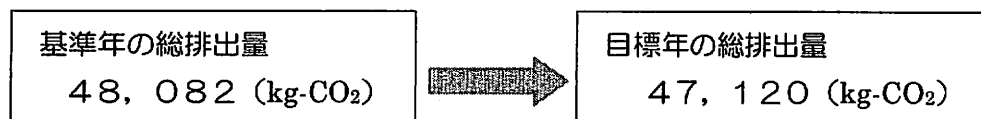
石川県立七尾産業技術専門校

校長 谷口 太平

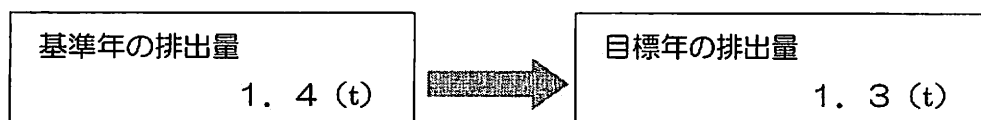
### 3 環境負荷の低減目標

22年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも20年です。)

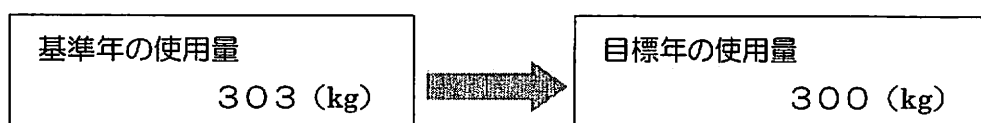
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する



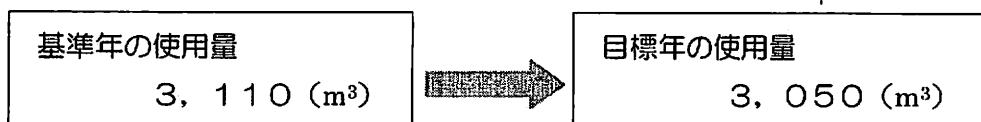
【目標2】 産業廃棄物の排出量を2%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を2%削減する



【目標4】 水使用量を2%削減する



【目標5】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(訓練部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る。
- ・ 昼休みと休憩時間には、実習場の照明器具の消灯を徹底する。
- ・ 教室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない教室の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する

(事務部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 公用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 鉄くず等のリサイクル BOX、廃油置場の整理整頓を行う
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 毎月、第四月曜日を事務用品等リサイクル日とし、リサイクル倉庫（中能登総合事務所）へ搬入する
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 弁当等は詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 手洗い場、洗車場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付けるなど、節水に努める。

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、校長又は副校長による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 指導員・訓練生による環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

校長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。